２０２６年度　東京都立大学大学院
人文科学研究科　入学試験
（2 月入試）

教室名（分野名）	心理学教室
課程	博士後期課程
試験区分	☑　一般学生 ☑　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	英語
出題の意図	心理学の諸分野の英語文献を読解すために必要な専門知識と英文の文意をつかむ能力および語彙力を問うために出題した.

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026 年度　人文科学研究科　心理学分野

博士後期課程試験問題：英語

設問は 2 問あります。

解答には、それぞれ別の解答用紙を用いて下さい。

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

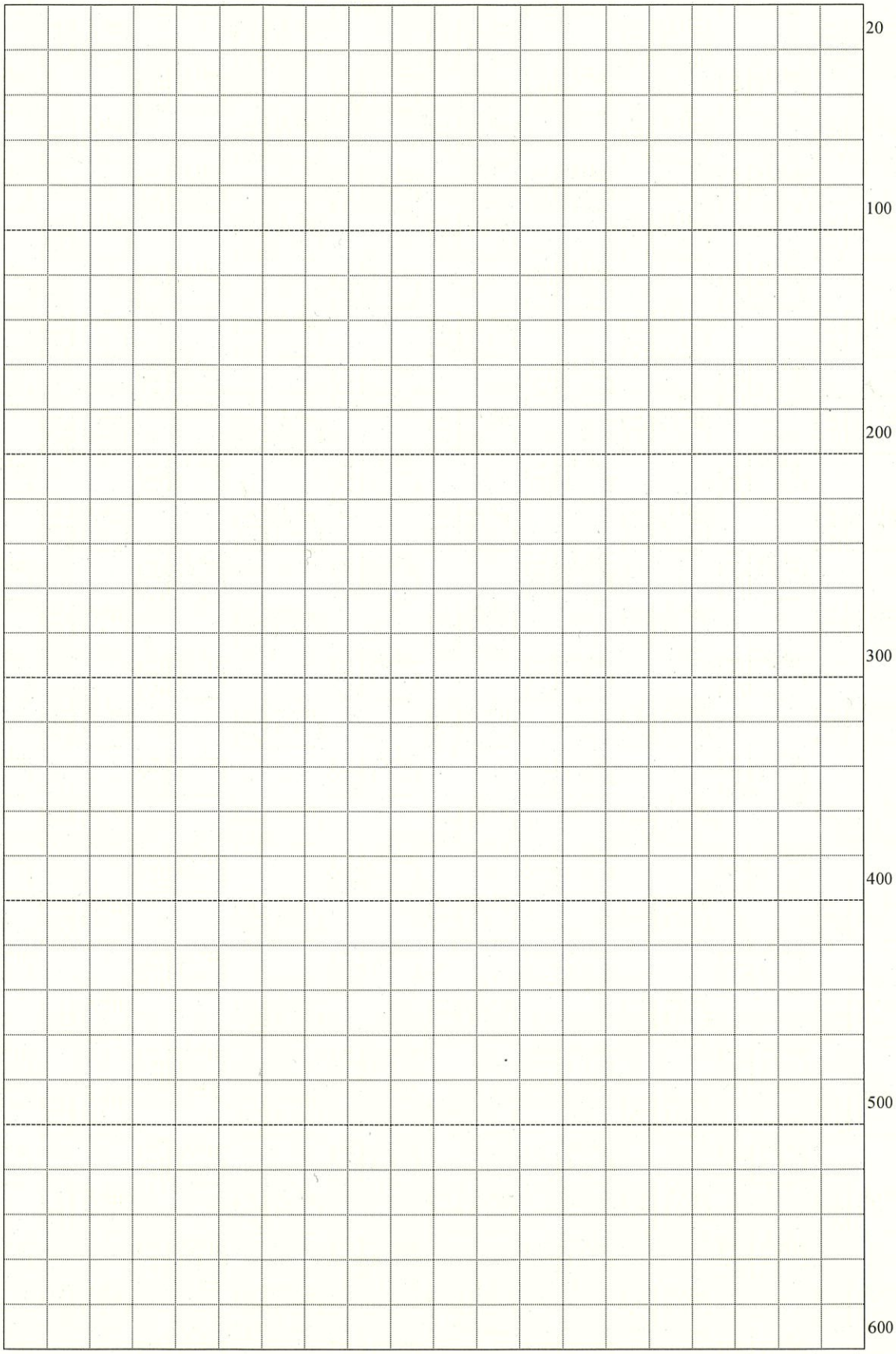
この問題用紙を持ち帰ってはいけません

１）つぎの英文の要旨を 600 字以内の日本語でまとめなさい。解答用紙はマス目のあるものを用い、設問番号を必ず記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典（出題のために一部改編）：*Nature*（2023 年 3 月 1 日）の記事
（https://www.nature.com/articles/s41586-023-05748-8）より

下書き用紙



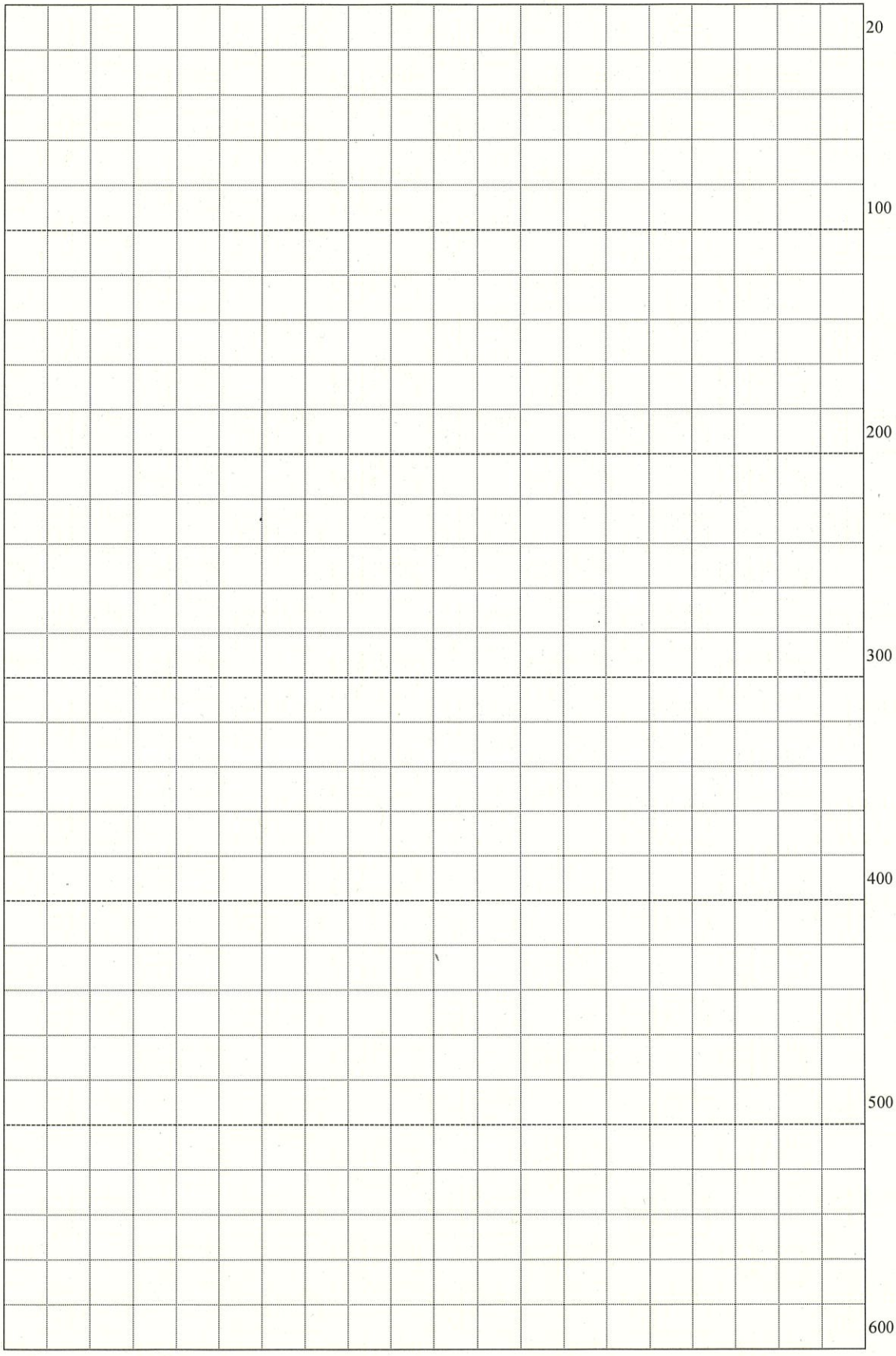
２）つぎの英文の要旨を 600 字以内の日本語でまとめなさい。解答用紙はマス目のあるものを用い、設問番号を必ず記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：*Time*, June 24, 2024, pp.49-51. タイトルは解答に関わるため明記せず。一部改変。

下書き用紙



２０２６年度　東京都立大学大学院
人文科学研究科　入学試験
（2 月入試）

教室名（分野名）	心理学教室
課程	博士後期課程
試験区分	☑　一般学生 ☑　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文
出題の意図	心理学の諸分野の研究の基盤となる理論や概念を正確に論理的に論述する能力を問うために出題した.

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026年度 人文科学研究科 博士後期課程
試験問題：論文
心理学分野

・問題は12問あります。そのうち3問を選択して解答して下さい。

・項目ごとに異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい（固有名詞・略語などその限りではありません）。

・解答用紙の「授業科目」欄に、解答する問題番号を必ず記入して下さい。

・白紙で提出する場合も、解答用紙に問題番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

2026年度　人文科学研究科 博士後期課程試験問題
心理学分野（論文）

以下の12問から3問を選択して答えなさい。問題ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に必ず問題番号を記すこと。

1．あなたが考える臨床心理的地域援助研究の具体例を挙げ、どのようなことを明らかにしたいのか、量的研究と質的研究を相補的に使って研究するにはどのようにアプローチしたら良いか考えなさい。

2．精神保健領域における共同意思決定（Shared Decision Making：SDM）の研究知見を踏まえつつ、具体的な臨床場面を例に挙げ、SDMのメリットと課題について論じなさい。

3．潜在記憶とは何であるかを述べた上で、その測定方法を説明しなさい。また、潜在記憶という記憶システムが存在すると考えられる根拠を論じなさい。

4．感情の理論（例えば、ジェームズ・ランゲ説やキャノン・バード説など）について、できるだけ多くのものを取り上げながら、その共通点や差異などを論じなさい。

5．統計的推測における頑健性について説明しなさい。

6．線形モデルにおける平方和の自由度について説明しなさい。

7．認知と動機という2つの要素から整理された思考者に対する5つの基本的観点に基づいて、社会的認知の研究史について論じなさい。

8．利他的行動の進化について論じなさい。

9．視覚における中心視と周辺視について、機能的特徴と神経解剖学的特徴の点から論じなさい。

10．刺激と感覚に関するスティーヴンスの法則について論じなさい。

11．第二次性徴前後の時期における発達の様子について、心理学を含む複数の学術的な知見を用いて総合的に論じなさい。

12．パラソーシャル関係（parasocial relationships）について説明し、就学期の子どもの発達にどのように関わる可能性があるかを論じなさい。